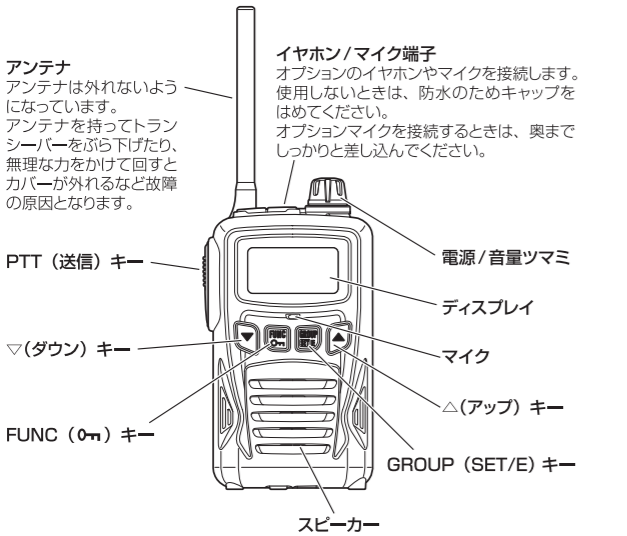


各部の名前とはたらき

前面部



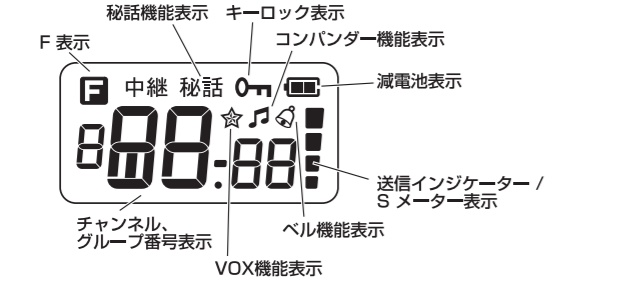
アンテナ
アンテナは外れないようになっています。
アンテナを持ってトランシーバーをぶら下げたり、無理な力をかけて回すとカバーが外れるなど故障の原因となります。

イヤホン/マイク端子
オプションのイヤホンやマイクを接続します。
使用しないときは、防水のためキャップをはめてください。
オプションマイクを接続するときは、奥までしっかりと差し込んでください。

電源/音量ツマミ
ディスプレイ
マイク
△(アップ) キー
GROUP (SET/E) キー
スピーカー

PTT (送信) キー
▽(ダウン) キー
FUNC (0m) キー

ディスプレイ



秘話機能表示
キーロック表示
コンパンダー機能表示
減電池表示
送信インジケータ / Sメーター表示
ベル機能表示
VOX機能表示
F表示
中継 秘話 0m
チャンネル、グループ番号表示

セットモード

各種機能用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

- [FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
- [SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。
[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- ▼または△キーを押して設定値を変更します。
- [PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
<https://www.alinco.co.jp/>「電子事業部」「通信技術」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池選択 (アルカリ / Li-Ion / Ni-MH)	AL / Li / ni	AL
CP-oF	コンパンダー (雑音低減)	OFF / ON	OFF
vo-oF	VOX (音声検知送信)	OFF / Lo / Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF / ON	OFF
bP-Lo	ビーブ音量 (操作音)	OFF / Lo / Hi	Lo
EP-on	エンドビー (送信終了音)	OFF / ON	ON
bL-oF	ベル (呼び出しお知らせ)	OFF / ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF / 5秒 / ON	5秒
PH-oF	PTT ホールド (送信保持)	OFF / ON	OFF
Pt-on	PTT オンオフ (送信禁止)	OFF / ON	ON
Er-on	イヤホン断線検知	OFF / ON	ON
Cb-oF	コールバック	OFF / ON	OFF
Po-Hi	送信出力 (Hi: 10mW / Lo: 1mW)	Lo / Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能 ([SET/E] 長押しで通報)	OFF / ON	OFF

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電機を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3分の通信制限時間を超過している。	PTTキーを離し2秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	充電機が専用品でない。	専用充電機 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。
ディスプレイに「Er-nG」と表示される。	イヤホンマイクやイヤホンが断線している。	イヤホンマイクやイヤホンを交換してください。
	イヤホンマイクやイヤホンが正しく接続されていない。	イヤホン/マイク端子に異常がないか確認してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

製造中止製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-70	Li-Ionバッテリーパック (1000mAh)	EME-522A	イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-184A	シングル充電器セット (EBP-70用)	EME-762PA	イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-158A	ツイン充電器セット (EBP-70用)	EME-762MA	イヤホンマイク (オープンエア型)
EDC-158R	ツイン連結スタンド (4台まで/EBP-70用)	EME-46A*	ヘッドセット
EDC-162	連結充電用ACアダプター	EME-53A*	ヘルメット用ヘッドセット
EME-21A*	イヤホンマイク (グレー/カナル型)	EME-6	ストレートコードイヤホン (オープンエア型)
EME-21AB*	イヤホンマイク黒 (黒/カナル型)	EME-26	カーブコードイヤホン (オープンエア型)
EME-57A*	イヤホンマイク (カナル型/耳かけ付)	EME-50	ストレートコードイヤホン (耳かけ型)
EME-29A*	イヤホンマイク (耳かけ型)	EMS-59	スピーカーマイク (PTTホールド、VOX使用不可)
EME-39A*	咽喉イヤホンマイク	ESC-61	ソフトケース
EME-652CA	イヤホンマイク (カナル型)	EDC-109J	ツイン充電器セット (生産終了 EBP-25NH用)
EME-652MA	イヤホンマイク (耳かけ型)	EDC-115	シングル充電器セット (同上)

毎日マイクをお使いの場合は*付きの業務仕様をお求めください。頑丈で、故障の際も買い替えよりリーズナブルに修理ができます。

チャンネル表示

L01	422.2000MHz	b01	422.0500MHz
L02	422.2125MHz	b02	422.0625MHz
L03	422.2250MHz	b03	422.0750MHz
L04	422.2375MHz	b04	422.0875MHz
L05	422.2500MHz	b05	422.1000MHz
L06	422.2625MHz	b06	422.1125MHz
L07	422.2750MHz	b07	422.1250MHz
L08	422.2875MHz	b08	422.1375MHz
L09	422.3000MHz	b09	422.1500MHz
		b10	422.1625MHz
		b11	422.1750MHz

定 格

送信周波数	422.0500MHz～422.1750MHz / 422.2000MHz～422.3000MHz
電波形式	F3E (FM)
送信出力	10mW / 1mW
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)
音声出力	400mW以上 (本体スピーカー) / 80mW以上 (外部出力)
通信方式	単信
定格電圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)
動作温度範囲	-10～+50℃
寸法	幅54.8mm×高さ94mm×厚さ27.3mm (突起物除く) アンテナ上方向状態の全高さ165.4mm
重量	約174g (単三形乾電池3本含む/ベルトクリップ除く)

参考：生産を終了したニッケル水素バッテリー-EBP-25N/NH (充電機)の充電・極性に注意して充電機を無線機に装着、付属ACアダプターをAC100Vに接続します。電源を切った無線機の向きに注意してスタンドのポケットに挿入します。

■EDC-109J 急速充電器

赤ランプ点滅が緑点灯に変わったら完了です。空の充電機を約2時間で充電しますが電池残量によって変わることがあります。電池残量があるのに補充電を繰り返すと電池劣化を早めます。赤と緑のランプ点滅は異常の表示です。サービスセンターにご相談ください。

■EDC-115 トリプル充電器

無線機に減電池表示が出てから充電します。電池残量があるのに補充電を繰り返すと使える時間が短くなるメモリー効果の原因になります。ポケットに入れると赤ランプが常時点灯します。消灯はしません。12時間程度経過したら取り出して、電池残量表示を確認ください。12時間を過ぎて通電しても直ちに故障することはありませんが、1日単位で放置するようなことを繰り返すと劣化、発熱、故障の原因となります。

*市販の単三形充電機は充電できません。
*充電器は補修用部品として保守年限期間中はサービスセンターで在庫しています。

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回します。



音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
▼キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

▼または△キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。



受信する

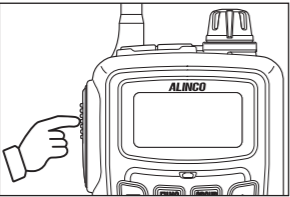
信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ

本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザツ」というノイズが低減されています。(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
→[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。
一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブブ」が鳴り送信できません。
[PTT]キーを離すと受信待ち状態に戻ります。



コールトーン機能

送信中に▼または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手呼び出すことができます。▼と△キーでは音色が異なります。

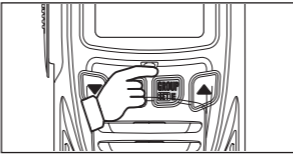
グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズ音や混信を低減する効果があります。

[GROUP] キーを押す

→グループ番号が点灯します。



グループ番号を合わせる

[FUNC]キーを押しながら▼または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。



グループ番号は01～50を選択できます。

送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

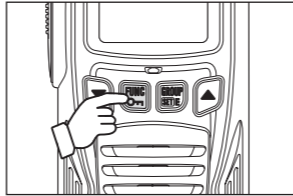
キーロック

キーロックしておくことで誤操作を防止できます。

簡易キーロック (Loc1)

[FUNC]キーを約2秒押します。
→「Loc1」が点滅したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。



通常キーロック (Loc2)

[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に約2秒押します。
→「Loc2」が点滅したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。



減電池表示

電池の残量はディスプレイに4段階で表示されます。



「電源が入らない」「ON / OFF を繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。
新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

メモ 「電池選択 (セットモード) 設定が適正でないとき正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。」

リセット

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。



[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。
→工場出荷状態のL01チャンネルになります。

その他の機能

本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp「電子事業部」「通信技術」
内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

メモ 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すことで正常な状態に戻ることがあります。